2025年度事業報告

学校法人

大阪星光学院

学校法人大阪星光学院　2025年度事業報告書
（2025年4月1日から2026年3月31日まで）

Ⅰ．法人概要

学校法人大阪星光学院は、教育基本法及び学校教育法に従いつつ、カトリックの教育精神及び設立母体であるカトリック・サレジオ修道会の創立者ヨハネ・ボスコの教育理念に基づく教育を行い、社会に有為な人材を育成することを目的とする。

1．設立年月日

昭和２５年１２月２２日

2．設置する学校及び生徒数

学校	学年	定員数	生徒数＊	転退
大阪星光学院中学校	１年	２００	１９４	
	２年	２００	１９２	
	３年	２００	１９２	１
大阪星光学院高等学校	１年	２００	１９６	２
	２年	２００	１８５	１
	３年	２００	１９５	０
合計		１２００	１１５４	４

＊生徒数は2026年3月1日現在

3．設置する学校の所在地

学校法人大阪星光学院

〒５４３－００６１　大阪府大阪市天王寺区伶人町１番６号

4．教職員の概要（2025年5月1日現在）

	教員					職員				
	本務		兼務		計	本務		兼務		計
中学校	教員	30	非常勤講師	5	35	事務職員	2	カウンセラー	1	3
	養護	1	特別非常勤講師	2	3	受付	1			1
						営繕	1			1
						南部管理	1			1
高等学校	教員	30	非常勤講師	3	33	事務職員	3	カウンセラー	1	4
	養護	1	特別非常勤講師	0	1	受付	1	山荘管理	1	2
						営繕	1	清掃	1	2
合計		63		9	72		10		4	14
2024年度		62		9	71		9		4	13

５．役員の概要（2025年６月１日現在）

定員：理事６人以上８人以内、監事２人以上３人以内

理 事 長	鈴木英史（前大阪星光学院中学校・高等学校校長）
理　　事	田沢幸夫（大阪星光学院中学校・高等学校校長）
常任理事	宮本浩司（前大阪星光学院学院中学・高等学校教頭）
々	東浦丞示（元大阪星光学院学院中学・高等学校教諭）
理　　事	北川純二（サレジオ小学校・中学校校長）
々	長岡洋一（学校法人サレジオ学院顧問）
々	辻家直樹（学校法人サレジオ学院　修道院院長）
々	中田正一郎（サレジオ修道会日本管区　副管区長）
監　事	前田崇史（日向学院中学校・高等学校 副校長）
々	大平浩司（税理士）

６．評議員の概要（2025年６月１日現在）

定員：理事定員以上　現在９人

野出明敬、井上末廣、吉田利満、範国平次、小寺史郎、川村卓士、松岡浩治、阿部強、三島慶

Ⅱ．事業の概要

１．教育の充実

１）　ミッションスクールとして宗教教育の充実

・宗教教育委員会が核となって学院全体の宗教・倫理教育の充実をはかり、生徒、保護者を通じて福音的価値観を社会に発信した。

・特に１月のドン・ボスコ記念の行事を充実させ、この他にも学校全体で参加できるような宗教行事を実施。

・教職員にカトリック教育に関する研修会を、毎職員会議ごとに実施。

・毎朝のショートホームルームでの司祭を中心に講話と宗教教育委員会の先生による「主の祈り」、毎週１時間の倫理の授業、校外行事を通して福音的価値観の理解の徹底を図った。また、保護者を対象に聖書教室を開き、あわせて学院の教育理念の理解を求めた。

上記４点は、達成できた。

２）学校法人城星学園との連携協力確認書の履行。

３）中高一貫教育の充実

日々の授業の充実、部活動等の活性化を図るとともに、校内に併設する小崎研修館では２泊３日、南部学舎・黒姫星光山荘では約５泊６日を単位とする校外行事を実施した。南部学舎における授業合宿、勉強合宿は予定通り実施した。黒姫星光山荘における夏期休暇中の行事、スキー教室は予定通り実施した。教職員と生徒、また生徒どうしの相互理解を深める機会が得られた。

４）学力向上

中高の６ヵ年一貫教育による「理解と信頼」を基に、心の教育を土台として知的な教育につなげ、将来「世の光」として働ける人材を育てていくことをモットーにという姿勢を重視した。今後は、六ヶ年を総合的に見通した新たな教育システムの導入と本校特有の積み上げてきた教育プログラムを融合して行く事が求められる。

六ヶ年の成長段階に合わせた下記の教育プログラムの実践

・ 第一期（中学１・2 年）は基本的生活習慣を確立し、基礎学力の充実を図り土台を固め、多様な価値観を容認するおおらかな心を養うよう指導。

・ 第二期（中学３年・高校１年）は第一期で築いた土台の上に立ち、関心領域を積極的に拡大しながら考える力を伸ばし、自分の適性の発見に努められるように指導。
・ 第三期（高校２・３年）は理系・文系に分かれ、各自の進路実現に向け、学力の更なる充実を図るとともに、社会的存在としての自覚を促す指導。

この教育プログラムにより生徒を把握し、生徒の成長指導に資するようにした。学校補習授業を実施、保護者・生徒との面談を行い、学力向上にもつなげた。それ以外にも補習合宿を実施、多方面の講演会も実施した。また、同窓会の協力のもとで「星ゼミ土曜講座」を実施してキャリア教育にも努めた。

今年度の大学入試は以下のとおりであった。今後も、生徒の希望する進路確保に努める。

年度	2025 年度（71 期生）					
卒業生	195 名					
現・既卒別	現役	医学部	既卒	医学部	計	医学部計
国公立大学	96	13	57	14	153	27
私立大学	84	7	164	16	248	23

文科省管轄外大学校

防衛医大	0（3）	0（3）	3	3	3（3）	3（3）
防衛大学校	1				1	

（ ）:一次のみ合格

◇主な大学別合格者(2026 年 5 月現在)

年度	2025 年度(71 期)					
70 期卒業生数	195					
現・既卒別	現役	医学部	既卒	医学部	計	医学部
東京大	10		2		12	
京都大	32	3	10		42	3
大阪大	7	1	4	1	11	2
神戸大	3		7	1	10	1
一橋大	1				1	
東京科学大			1		1	
北海道大			2		2	
帯広畜産大	1				1	
旭川医科大			1	1	1	1
秋田大			1	1	1	1
筑波大	1	1	2		3	1
千葉大			1		1	
電気通信大			1		1	
横浜国立大			1		1	
金沢大			1	1	1	1
福井大			1	1	1	3

信州大			1		1	
岐阜大			1		1	
名古屋工大			1		1	
三重大	1		2	1	3	1
滋賀医大	1	1	2	2	3	3
京都工繊大	1				1	
奈良教育大	1				1	
大阪教育大	1				1	
和歌山大	1				1	
鳥取大			1	1	1	1
岡山大	1	1			1	1
徳島大			1		1	
香川大			1	1	1	1
九州大	1		1		1	
熊本大	1	1			1	1
鹿児島大	2	1	1	1	3	2
琉球大	1	1			1	1
国立計	72	10	42	11	114	21
岐阜薬科大			1		1	
京都府立大	1				1	
大阪公立大	19	1	10	1	29	2
兵庫県立大	1		2		3	
奈良県立医大	1	1	1	1	2	2
和歌山医大	1	1	1	1	2	2
岡山県立大	1				1	
公立計	24	3	15	3	39	6
慶応大	1		4		5	
早稲田大	4		7		11	
上智大	1				1	
中央大			5		5	
東京理科大	1		5		6	
同志社大	20		32		52	
関西学院大	11		10		21	
関西大	6		14		20	
立命館大	24		12		36	
大阪医科大	1	1	4	4	5	5
関西医科大	2	2	4	4	6	6
その他	13	4	67	8	80	12
私学計	84	7	164	16	248	23
総計	180	20	221	30	401	50

防衛医科大	(3)	(3)	3	3	3 (3)	3 (3)
防衛大学校			1		1	
水産大	1				1	
計	1 (3)	(3)	4	3	4 (3)	3 (3)

( ) : 一次のみ合格

5) クラブ活動の活性化

クラブ活動も学習と共に学校生活を豊かにするものであります。多数の生徒がクラブ活動に参加している。

＜文科系クラブ＞ 中学生：235 名 高校生：195 名

＜運動系クラブ＞ 中学生：416 名 高校生：341 名

クラブ名	中	高	計	クラブ名	中	高	計	クラブ名	中	高	計
天文	5	20	25	美術	15	15	30	バスケットボール	53	39	92
ライフサイエンス	26	19	45	新聞	3	0	3	バレーボール	20	17	37
電気工学	9	8	17	文芸	6	8	14	テニス	62	45	107
化学	22	7	29	カトリック研究会	11	4	15	卓球	46	30	76
物理	3	5	8	書道	4	0	4	野球（高）		28	28
地歴研究	21	6	27	囲碁将棋	21	18	39	野球（中）	68		68
数学研究	26	3	29	クイズ研究会	24	8	32	ホッケー	31	33	64
ＥＳＳ	5	12	17	合唱同好会	11	3	14	柔道	31	26	57
放送	0	14	14	ボランティア	2	28	30	弓道	11	8	19
吹奏楽	7	9	16	けん玉同好会	3	3	6	サッカー	51	57	108
写真	11	5	16	陸上	20	25	45	剣道	18	25	43

(2025 年 6 月現在)

２．2026 年度生徒募集状況（2026 年中学１月、高校２月実施）について

１）≪大阪星光学院中学校≫

インターネット出願を実施。受験生の出願手続き及び入学金手続きの利便性が向上。インターネット出願による受験生の戸惑い等はほとんどなく実施。

・城星学園小学校生対象の特別選抜入試を実施

＜入試科目＞

Ⅰ型：４科型（国語・算数・理科・社会）

・４科目の合計点、国語・算数・理科の合計×1.25、国語・算数・社会の合計×1.25 の内最高点を本人の成績とする。

Ⅱ型：３科型（国語・算数・理科）

・３科目の合計点×1.25 を本人の成績とする。

＜合格発表＞　受験者（Ⅰ型＋Ⅱ型）の成績上位より定数を合格発表する。

２）≪大阪星光学院高等学校≫

インターネット出願を実施。受験生の出願手続き及び入学金手続きの利便性が向上。

インターネット出願による受験生の戸惑い等はほとんどなく実施。

入学手続きを、専願生と併願生で分けた。専願生は合格発表後すぐ、併願生は公立高校の発表を待って手続きさせた。

＜入試科目＞　国語、数学、英語、社会、理科　専願者のみ面接試験

＜配　　点＞　国語 120 点、数学 120 点、英語 120 点、社会 70 点、理科 70 点

英･数･国･理･社 5 教科の評定と音･美･体･技 4 教科の評定

＜選抜方法＞　入学試験結果と評定と面接結果で判定

＜入試結果概要＞

中学（77 期生）			高等学校（74 期生）	
年度	2026 年度生		2026 年度生	
	Ⅰ型	Ⅱ型	専願	併願
志願者数	498	217	16	32
受験者数	479	192	15	32
合格発表者数	208	73	12	28
合格最低点	252.5			
競争率	2.5			
実質競争率	2.4			
特別選抜合格者	5			
入学者数	191		12	4
			内部進学者	187

３）≪渉外部の広報活動≫

・インターネット出願の説明を５月頃より開始、

・渉外部の小学校・塾主催の説明会や講演会への参加

・塾向け学校内の広報活動を実施

・2026 年度学院案内作成

・オープンスクール

・学校説明会

３．主な事業

≪教　務≫

（１）　各学年主な行事一覧

学校	対象	時期	行事
中学	1	４月/６月	研修館合宿（第１期～10 期）２泊３日
		４月	遠足（伊賀の里モクモク手づくりファーム）
		５月	消防訓練
			遠足（大阪・関西万博）
			人権映画　多様性・障がい者の雇用　映画「チョコレートな人々」
			創立７５周年　感謝のミサ
		６月	登山（金剛山）
		７月/８月	山荘合宿　前班 7/30～8/3　後班 8/4～8
		８月	プール教室（城星学園）
		９月	校外学習（大阪歴史博物館）
		１０月	芸術鑑賞（日本伝統音楽の鑑賞「和太鼓」）
			南部授業合宿　10/13～18
			障がい者施設赤おにとの交流会
		１１月	SF
			クリスマス会
		１月	保護者対象性教育講演会
			記念ミサ
		２月	耐寒登山（葛城山）
			記念ミサ
		３月	スキー教室（前班 3/7～3/11・後班 3/11～3/15）
	2	５月	遠足（大阪・関西万博）
		５月	消防訓練
			人権映画　多様性・障がい者の雇用　映画「チョコレートな人々」
			創立７５周年　感謝のミサ
		６月	人権講演行事　アンガーマネジメント講演会
		７月	山荘合宿　前班 7/21～25　後班 7/26～30
		９月	南部授業合宿　9/8～13
		１０月	芸術鑑賞（日本伝統音楽の鑑賞「和太鼓」）
		１１月	SF
		１月	スキー教室（前班 1/4～8・後班 1/8～12）
			記念ミサ
		２月	天王寺警察署による交通ルールについての講演会
			英語暗唱大会
			思春期教室（講演会）

高校	3		記念ミサ
		4月	南部授業合宿　4/21～25
		5月	消防訓練
			遠足（大阪・関西万博）
			人権映画　多様性・障がい者の雇用　映画「チョコレートな人々」
			創立７５周年　感謝のミサ
		7月	修学旅行３泊４日（長崎）
		8月	南部勉強合宿　8/18～22
		１０月	芸術鑑賞（日本伝統音楽の鑑賞「和太鼓」）
		１１月	SF
		1月	記念ミサ
		2月	校外学習（鶴見緑地球技場）
			人権講演行事　セルフエスティーム講演会
			記念ミサ
			英語暗唱大会
			公認会計士出前授業
		3月	卒業式
	1	4月	南部勉強合宿　4/1～4/3 高入生・希望者
		5月	消防訓練
			遠足（大阪・関西万博）
			人権映画　多様性・障がい者の雇用　映画「チョコレートな人々」
			創立７５周年　感謝のミサ
		6月	OB 講演会・交流会（18 期　魚谷雅彦）
		7月	南部合宿　7/22～26
		8月	山荘合宿　前班 8/18～21　後班 8/22～25
		１０月	芸術鑑賞（日本伝統音楽の鑑賞「和太鼓」）
		１１月	SF
			京大オープンキャンパスツアー
			近畿大学　屋木清孝氏による講演会
		1月	デート DV 講演
			記念ミサ
			マラソン大会（大泉緑地公園）
		2月	芸術授業の成果発表会
			英語暗唱大会
	2	5月	消防訓練
			遠足（大阪・関西万博）
			人権映画　多様性・障がい者の雇用　映画「チョコレートな人々」
			創立７５周年　感謝のミサ

		6月	OB講演会・交流会（18期　魚谷雅彦）
			修学旅行4泊5日（フィリピン・マニラ）
		7月・8月	南部勉強合宿　7/29～8/3
		１０月	芸術鑑賞（日本伝統音楽の鑑賞「和太鼓」）
		１１月	SF
			講演会（HIV感染症など）
		1月	マラソン大会（大泉緑地公園）
			記念ミサ
		2月	思春期教室（講演会）
		3月	南部合宿　3/12～16　希望者
	3	5月	消防訓練
			人権映画　多様性・障がい者の雇用　映画「チョコレートな人々」
			創立７５周年　感謝のミサ
		6月	OB講演会・交流会（18期　魚谷雅彦）
		8月	南部勉強合宿　8/24～29
		１０月	芸術鑑賞（日本伝統音楽の鑑賞「和太鼓」）
		１１月	SF
		2月	卒業式
学校	対象	時期	行事

（2）各種大会代表

○　第45回全国高等学校クイズ選手権　全国大会　山本明空、家岡勇弥、桑原獅月
○　第21回全国物理コンテスト　銅賞 小寺啓太
○　大阪私立高等学校テニス選手権　優勝 奥村惺
○　近畿高等学校秋季ライフル射撃選手権　山内拓志
○　近畿高等学校総合文化祭鳥取大会将棋部門　香月悠、森田雄策、塚本勘太
○　化学グランプリ2025　銅賞 石山蓮士
○　日本生物学オリンピック2025　銀賞 大﨑太陽
○　近畿高等学校選抜ホッケー大会　フィールドホッケー部
○　第15回科学の甲子園全国大会
　　矢野誠太郎、根来翔太、寺田佳、山岸匠、中野賢斗、島鉱平、東風汰、辰巳優大
○　第20回エコノミクス甲子園全国大会　加茂晴樹、中島拓海
○　第11回マイナビキャリア甲子園決勝大会
　　中丁徹太、古河智朗、永野陽大、加藤尚生
○　第36回日本数学オリンピック　西田亮太

≪主な経費支出について≫
新校舎建設後 10 年超経過による経年使用劣化が、同時期に生じることによる修繕経費支出が増額となった。南部学舎、黒姫星光山荘の修理と新規設備の導入等必要となった。

ア．経費支出
新校舎建設後 10 年超経過による経年使用劣化が同時期に生じることによる修繕経費支出が継続している。南部学舎、黒姫山荘の修理と新規設備の導入等が必要となった。

(1) 消耗品費

①冷却水処理剤レジオクラッシュ	198,000 円
②（web 配信用）Zoom2.0　20 ﾗｲｾﾝｽ	352,000 円
③（入試説明会用）手提げ袋　1,500 枚	660,000 円

(2) 通信運搬費

○インターネット利用料	1,069,200 円

(3) 修繕費

【山　荘】

○高圧設備改修工事	993,300 円

(4) 損害保険料

【本　校】

○個人情報漏洩保険（AIG 損保㈱）	701,740 円

【南　部】

○企業財産保険（地震）保険（1 年）（AIG 損保㈱）	4,310,850 円

(5) 報酬委託手数料

①警備・施設管理・清掃委託料（ｼﾐｽﾞ・ﾋﾞﾙﾗｲﾌｹｱ関西）	31,303,000 円
②空調設備保守点検業務委託料（ﾀｷｲﾁ）	2,088,000 円
③教員派遣料（2 人）（ｴﾃﾞｭｹｰｼｮﾅﾙﾈｯﾄﾜｰｸ）	5,396,000 円
④校内システム保守他（ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ）	2,565,000 円
⑤校内・卒業記念樹園管理委託料（阪神園芸）	2,585,000 円
⑥中高入試 Web 出願利用料（ｴﾃﾞｭｹｰｼｮﾅﾙﾈｯﾄﾜｰｸ）	1,326,000 円
⑦医薬品・環境衛生に関する相談（薬剤師）	120,000 円

(6) 行事費

○（芸術鑑賞）落語鑑賞	556,500 円
	※学校負担分のみ

(7) 賃借料

○（食堂）券売機リース代	320,547 円

イ．施設設備関係支出

(1) 建物支出

①（本　校）中央監視装置更新工事	49,500,000 円
②（本　校）校内電話設備更新作業一式	2,563,000 円

③（南　部）無線 LAN 構築工事	9,308,200 円
④（山　荘）ボイラー入替工事	3,140,500 円
⑤（山　荘）自動火災報知設備一式	1,441,000 円

(2) 機器備品支出

①プロジェクター（本校 4 台・南部 2 台・山荘 2 台）	6,245,404 円
②（生徒食堂）食器洗浄機	1,613,700 円
③ホッケーゴール	847,000 円

ウ．資産運用支出

①退職給与引当特定資産繰入支出	25,177,000 円
②減価償却引当特定資産への繰入支出	30,000,000 円

Ⅲ．財務の概要

以下に記載した財務の概要は、学校法人会計基準に基づき作成した計算書類を要約したものです。

１．資金収支計算書（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

収入の部　　（単位　千円）

科　　目	2025 年度予算	2025 年度決算	差　　異	2024 年度決算	前年度比
生徒納付金収入	675,318	675,871	△ 553	711,696	△ 35,825
手数料収入	15,780	15,659	121	16,062	△ 403
寄付金収入	10,500	8,420	2,080	18,720	△ 10,300
補助金収入	509,507	536,054	△ 26,547	487,820	48,234
資産売却収入	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業	5,000	3,193	1,808	2,319	874
受取利息・配当金収入	8,000	6,828	1,172	5,908	920
雑収入	35,379	35,332	47	13,007	22,325
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	133,050	133,690	△ 640	124,600	9,090
その他の収入	58,840	73,618	△ 14,778	93,126	△ 19,508
資金収入調達勘定	160,800	161,889	△ 1,089	△ 173,739	335,628
前年度繰越支払資金	106,574	106,574	0	72,932	33,642
収入の部合計	1,397,147	1,433,351	△ 36,203	1,372,451	60,900

支出の部　　（単位　千円）

科　　目	2025 年度予算	2025 年度決算	差　　異	2024 年度決算	前年度比
人件費支出	949,372	955,941	△ 6,569	891,952	63,989
経費支出	162,283	167,896	△ 5,613	233,381	△ 65,486
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	64,000	66,711	△ 2,711	115,672	△ 48,961
設備関係支出	14,683	13,658	1,025	3,687	9,971
資産運用支出	0	55,177	△ 55,177	21,127	34,050
その他の支出	10,030	10,030	0	88	9,942
予備費	0	0	0	0	0
賃金支出調整勘定	△ 500	△ 1,023	523	△ 30	△ 993
翌年度繰越支払資金	197,280	164,962	32,318	106,574	58,388
支出の部合計	1,397,147	1,433,351	△ 36,203	1,372,451	60,900

2．事業活動収支計算書（2025年4月1日～2026年3月31日）

①教育活動収支

（単位千円）

教育活動収入	2025年度			2024年度	
科目	予算	決算	差異	決算	差異
生徒納付金	675,318	675,872	△ 554	711,696	△ 35,824
手数料	15,780	15,659	121	16,062	△ 403
寄付金	8,900	6,820	2,080	5,420	1,400
補助金	504,757	531,310	△ 26,553	451,850	79,460
付随事業収入	5,000	3,193	1,808	2,319	874
雑収入	35,379	35,332	47	13,007	22,325
教育活動収入計	1,245,134	1,268,186	△ 23,051	1,200,354	67,832

教育活動支出	2025年度			2024年度	
科目	予算	決算	差異	決算	差異
人件費	997,082	990,627	6,455	913,079	77,548
経費	278,283	278,823	△ 540	336,671	△ 57,848
（内減価償却額）	116,000	109,731	6,269	102,093	7,638
徴収不能額等	0	0	0	0	0
教育活動支出計	1,275,365	1,269,451	5,914	1,249,750	19,701
教育活動収支差額	△ 30,231	△ 1,265	△ 28,966	△ 49,396	48,131

②教育外活動収支

（単位千円）

教育外活動収入	2025年度			2024年度	
科目	予算	決算	差異	決算	差異
受取利息・配当金	8,000	6,828	1,172	5,908	920
その他収入	0	0	0	0	0
教育活動外収入計	8,000	6,828	1,172	5,908	920

教育外活動支出	2025年度			2024年度	
科目	予算	決算	差異	決算	差異
借入金等利息	0	0	0	0	0
その他支出	0	0	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0	0	0
教育活動外収支差額	8,000	6,828	1,172	5,908	920

③特別収支

特別収入　（単位千円）

科目	2025年度 予算	2025年度 決算	差異	2024年度 決算	差異
資産売却差額	0	0	0	0	0
その他の特別収入	6,907	6,960	△ 53	50,102	△ 43,142
特別収入計	6,907	6,960	△ 53	50,102	△ 43,142

特別支出　（単位千円）

科目	2025年度 予算	2025年度 決算	差額	2024年度 決算	差異
資産処分差額	0	15	△ 15	494	△ 479
その他の特別支出	62,279	62,558	△ 279	0	62,558
特別支出計	62,279	62,573	△ 294	494	62,079
特別収支差額	△ 55,372	△ 55,613	241	49,608	△ 105,221

	2025年度 予算	2025年度 決算	差異	2024年度 決算	差異
	（単位千円）				
基本金組入前当年度収支差額	△ 77,603	△ 50,050	△ 27,553	6,120	△ 56,170
基本金組入額合計	△ 50,000	△ 72,863	22,863	△ 138,024	65,161
当年度収支差額	△ 127,603	△ 122,913	△ 4,690	△ 131,904	8,991
前年度繰越収支差額	△1,177,306	△ 1,177,306	0	△ 1,045,402	△ 131,904
基本金取崩額	0	0	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 1,304,909	△ 1,300,219	△ 4,690	△ 1,177,306	△ 122,913
（参考）					
事業活動収入計	1,260,040	1,281,974	△ 21,934	1,256,364	25,610
事業活動支出計	1,304,644	1,332,024	5,620	1,250,244	81,780

3．貸借対照表（2026年3月31日）

資産の部　（単位千円）

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	4,457,808	4,433,579	24,229
有形固定資産	2,349,842	2,376,990	△ 27,148
土地	88,205	88,205	0
建物	1,873,136	1,875,421	△ 2,285

構築物	238,488	257,447	△ 18,959
機器備品	47,595	55,265	△ 7,670
図書	101,280	99,910	1,370
車輌	1,137	742	395
特定資産	2,052,124	1,997,936	54,188
減価償却引当	1,908,310	1,879,299	29,011
退職金引当	143,814	118,637	25,177
その他の固定資産	55,842	58,653	△ 2,811
電話加入権	554	554	0
ソフトウェア	6	1,613	△ 1,607
有価証券	39,877	39,877	0
保険積立金	14,000	14,000	0
長期前払費用	1,412	2,609	△ 1,197
流動資産	302,398	255,573	46,825
現金預金	164,962	106,574	58,388
未収入金	37,289	48,840	△ 11,551
金銭信託	100,000	100,000	0
仮払金	147	159	△ 12
資産の部合計	4,760,207	4,689,152	71,055

負債の部

（単位千円）

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	143,815	118,637	25,178
長期未払金	0	0	0
退職給与引当金	143,815	118,637	25,178
流動負債	255,883	159,956	95,927
未払金	1,023	30	993
前受金	133,690	124,600	9,090
預り金	49,104	35,326	13,777
賞与引当金	72,066	0	72,066
負債の部合計	399,697	278,593	121,104

純資産の部

（単位千円）

科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	5,660,728	5,587,865	72,863
第１号基本金	5,559,728	5,486,865	72,863
第４号基本金	101,000	101,000	0
繰越収支差額	△ 1,300,219	△ 1,177,306	△ 122,913
翌年度繰越収支差額	△ 1,300,219	△ 1,177,306	△ 122,913
純資産の部合計	4,360,509	4,410,559	△ 50,050
負債及び純資産の部合計	4,760,207	4,689,152	71,055